

新しい様式の型式検定合格証への移行に関するお知らせ

すでに当協会ホームページなどでお知らせしているとおり、型式検定合格証の様式を改定された機械等検定規則で定められた様式（以下、新しい様式）に移行し、これに合わせて型式検定合格証の構成も見直しました。新規検定に合格したものは2021年7月10日以降に交付する型式検定合格証から新しい様式に移行しました。また、更新検定に合格したものは2021年8月1日交付の型式検定合格証から、新しい様式で型式検定合格証を作成して、交付します。その際、旧の型式検定合格証には無効印を押して、お返します。

型式検定合格証の変更箇所（重要）

■ 当協会が新規に交付する、または既に交付した型式検定合格証

1. 様式の変更

有効期間欄が協会印の押印から、検定員の所属と氏名の記載になりました。

また、合格証の右上に、当協会のロゴを記載しております。

2. 型式検定合格証の構成の変更

合格証の構成を見直し、添付図面一覧表、製造検査設備等の概要書は合格証添付書類に移動しました。また、合格証の左下に、当協会の管理番号（ページ番号を含む）を記載し、割印をなくしました。契印の押印およびホッチキス止めも行いません。

現在の合格証	⇒	新しい様式の合格証
<ul style="list-style-type: none">1. 合格証（表紙）2. 別紙（別紙のある場合）3. 続紙（更新の結果で追加）4. 同一型式一覧表5. 添付図面一覧表6. 製造検査設備等の概要書		<ul style="list-style-type: none">1. 合格証（表紙）2. 別紙（別紙のある場合）3. 同一型式一覧表 <p>※当協会の管理番号</p>

3. 防爆構造電気機械器具については、適用基準、防爆記号を記載します。

ただし、当協会のデータで適用基準が確認できないもの（概ね、合格日が2010年以前のガス蒸気1979による申請のもの、合格日が2000年以前の粉じん防爆、国際整合防爆指針2008より前の基準のもの）については適用基準を記載せず、適用基準欄は斜線とします。

1) 従来、定格欄に記載しておりました国際整合技術指針の適用基準は、適用基準の欄に記載します。また、従来記載していなかった「ガス蒸気防爆2006」等についても記載するようにしました。

ガス蒸気防爆2006 NIIS-TR0NO.39

粉じん防爆1982 RIIS-TR-82-1

国際規格に整合した技術指針2008 JNIOSH-TR-NO.43

国際整合技術指針 JNIOSH-TR-46 シリーズ

2) 防爆記号を記載します。以下は、記載例です。

構造規格(ガス蒸気防爆2006) : d2G4

粉じん防爆(粉じん防爆1982) : DP-12 (3150粉じん防爆構造等の表示(2)の例による)

国際整合技術指針(Ex2015) : Ex d IIB T4 Gb

■ 労働大臣、労働省産業安全研究所が交付者である型式検定合格証

1. 有効期間を記している続紙を新しい様式に移行しました。

なお、合格証の構成は変更しません。

以上